

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成28年度第2回入間市児童センター運営委員会
開 催 日 時	平成 28年12月13日 (火) 午前10時00分開会・11時30分閉会
開 催 場 所	集会室
議 長 氏 名	町田 和美 委員長
出席委員(者)氏名	町田和美委員長 古谷進委員 西村めぐみ委員 齋藤治美委員 鈴木雅晴委員 島田守子委員
欠席委員(者)氏名	嶋原絹代副委員長 吉野正昭委員
説明者の職氏名	児童センター主幹 木下義幸
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 報告 ① 指定管理者制度の導入について ② 空調設備の改修工事について ③ 児童センター開館30周年記念事業について (2) その他 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 平成28年度第2回入間市児童センター運営委員会次第 2 平成28年度入間市児童センター運営委員会名簿 3 指定管理者制度の導入について 4 空調設備改修工事について 5 児童センターアイクス開館30周年記念行事について 6 年度別・曜日別利用者数 7 埼玉県内児童館・児童センター開館時間調べ(1)、(2) 8 児童センター空調設備改修事業及び指定管理者制度導入準備スケジュール (事務局案) 9 平成28年度12月以降の主な事業一覧

事務局職員職氏名	生涯学習部長 生涯学習部次長 生涯学習部生涯学習課長 児童センター所長 児童センター主幹 児童センター副主幹 児童センターパート職員	長谷川 芳明 新見 輝明 片寄 貴之 渡邊 泰典 木下 義幸 山崎 真弘 小川 結未佳
会議録作成方法	要点筆記	

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

議事の概要

(1) 審議 (報告)

- ① 指定管理者制度の導入について
- ② 空調設備の改修工事について
- ③ 児童センター開館30周年記念事業について

(2) その他

決定・検討事項

- ① 指定管理者制度の導入については、基本方針を基に運営は民間の力を借りて行う。
ボランティア会との協力や科学館的機能等、よい部分は継続し、更に民間のノウハウを活かしながら行う。
- ② 空調設備改修工事の際には設計業者、空調の業者に立ち会っていただく。プラネタリウムの空調には気をつける。工事に伴う部分閉館に際しては事前に学校に周知させる。
- ③ 5月5日のセンターまつりの前に1時間程度記念式典を行う。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
木下主幹	1 開会
	2 挨拶
町田委員長	<p>(1) 町田委員長</p> <p>大変寒い中お集まりいただきましてありがとうございます。特に昨日、今日辺りはかなり冷え込んでいます。ぜひ、今日も限られた時間ですがご審議をよろしくお願ひします。</p>
長谷川部長	<p>(2) 生涯学習部長谷川部長</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。先月予定していたのですが突然雪が降ってしまい、今日に延ばさせていただきました。お蔭様で今年度の児童センターの事業もここまで行ってこられました。本年は入間市制50周年、姉妹都市の佐渡市も30周年を迎えまして、給食の交換でお互いに地元の物を食べ合ひしようという企画があり、入間市内の小学校では佐渡米をいただき、佐渡市では入間のお茶を使ったものを食べていただきました。本日は、こちらからご説明しますので、ご意見ご質問等いただきたいと思ひます。</p>
古谷委員	<p>(3) 古谷委員</p> <p>本年度は小学校校長会の会長をさせていただいて、こちらでもお世話になっております。どうぞよろしくお願ひします。</p>
町田委員長	<p>3 議事</p> <p>それでは次第に沿ひ、議事を進めさせていただきます。1、2、3でそれぞれ区切らせていただき、そこでご質問ご意見等お願ひします。それでは事務局で指定管理者制度の導入について説明をお願いします。</p>
木下主幹	《①の指定管理者制度の導入について説明》
町田委員長	<p>指定管理者への移行は平成30年4月からになります。入間市の機構改革は平成29年の4月からです。そうすると平成29年度については現体</p>

発 言 者	発 言 内 容
片寄課長	<p>制で行きながら管轄だけが変わることになります。他にどのようなことが変わりますか。</p> <p>児童センターは、29年前、昭和62年に児童厚生施設として開館しました。本来ならば厚生労働省の管轄ですが、当初、教育委員会でも運営を行っていただきたいということで、プラネタリウムなど教育的な視点もいろいろ入れながら運営をしてきました。ここで組織が変わってこども支援部所管になりますが、健全に遊んだり学んだりすること以外に、福祉的な要素も入ってくると思います。例えば相談業務を行ったり、子どもの意見を聞いてそれを児童センターの運営や市政に反映させたりすることもあるのではないかと思います。</p>
鈴木委員	<p>今回の生涯学習フェスティバルの入場者数はどの位だったのですか。</p>
渡邊所長	<p>1100人弱だと思います。</p>
木下主幹	<p>去年は1600人位で今年より多かったです。</p>
鈴木委員	<p>児童センターは、いつも近所の子たちが来る遊び場みたいな部分と、さまざまなイベントが1年間にあって、それを目当てにお客様が来るという2つの部分があります。指定管理者になっても同じような対応ができるようにしてほしいと思います。今度市長部局に変わり、子育て支援が児童センターにとって重要な位置付けになってきます。それから、入間市には科学館がないので、その機能を児童センターが担ってきました。その部分はぜひ児童センターに残してほしいと思います。</p>
片寄課長	<p>指定管理者になったとしても基本方針を基に運営をしていくことになります。加えて、今度は民間の力を借り、よい部分を導入しながら運営していくことになります。科学のことなど、民間にノウハウがあれば活かしていきます。</p>
町田委員長	<p>4ページの資料1を見ますと、利用者は横ばいの状態ですね。</p>
木下主幹	<p>例年、春から夏に利用が多く、秋冬が減少します。平均すると昨年とほぼ同じです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
渡邊所長	入間市は、この10年間で0歳から18歳までの人口が14%減っています。しかし、利用者数は横ばいということは、いろいろな経営努力の結果が出ているのではないかと考えています。
西村委員	来年度からこども支援部所管になるということで、縦割りではなく横にもつながっていただくことを期待します。さまざまな施設を全体的にまとめると使いやすくなると思います。例えば、博物館、児童センター、図書館などで活動が重なっている部分があると取り合いになってしまうことがあります。また、児童センターも夕方まで開けるのであれば小学生が勉強できるような場所を作ってもらえるとよいと思います。遊びだけでなく、居場所みたいな複合的な施設になると子ども達が楽しいと思います。
片寄課長	この度の機構改革で、教育委員会生涯学習課の青少年担当の部分が青少年課になります。今までは福祉部は学校や教育との関わり合いがありませんでしたが、これからはお互いに行き来できるようになります。保護者にとって、しっかり子育てができる環境作りに努めます。
町田委員長	所管が変わると、小学校のプラネタリウム学習投影はどうなりますか。
片寄課長	これまでどおり、基本方針に沿って行っていきます。所管は青少年課であっても、教育委員会と連携して行います。
鈴木委員	実は5年以上前に児童センターのボランティア会と、博物館のボランティア会で交流しようと集まったことがありました。しかし、利用者の層が違うので、実質的に何かを行うことはありませんでした。共同のイベントが必要だと思いました。小学校で天文の学習をするのは4年生と6年生、それから中学校です。だから、中学校の生徒にプラネタリウムを見せるというのも中学生、高校生の利用が少ないという課題の解決に役立つのではないのでしょうか。
町田委員長	中学校との関係ですが、利用時間は来年度から変わるのですか、それとも指定管理に変わってからですか。
木下主幹	指定管理になる平成30年度からです。

発 言 者	発 言 内 容
町田委員長	それでは、先に進めさせていただきます。空調設備の関係をお願いします。
木下主幹	《②空調設備の改修工事について説明》
古谷委員	部分閉館の時、使える部分の周知はどのようにするのですか。
片寄課長	部分閉館の時も、部屋は基本的に使っていけないのではないかと思います。しかし、工事車両が入ってくる場合などは、安全のため閉館せざるを得ません。安全確保のため、隣の配水場からセンターの地下の機械を入れ替えるよう計画しています。部分閉館をする場合の周知については、文書を学校に配布してお知らせいたします。校長会でお話をさせてもらった後で文書を配らせていただきたいと思いますと考えております。
町田委員長	学校は次年度の指導計画を3月位までに立てるので、プラネタリウムの利用についてもそれに間に合うように連絡をしてください。
片寄課長	早い段階で相談しながら進めます。
鈴木委員	30年前、児童センター建設時に私たちは空調の業者と話し合いを行いました。なぜならば、プラネタリウムの空調は難しく、設計を間違えるとスクリーンがあつという間に黒くなってしまうのです。今回、スケジュールを見ると契約事業が5月の末とされているのですが、その時点で業者を決めるのでしょうか。できればその後、決まった業者と話をさせてもらいたいのです。その時点では教育委員会から青少年課に変わっていますが、もし、木下主幹が異動なく児童センターにいらっしゃるのであれば相談したいのでお願いします。
片寄課長	工事の際、設計業者や空調の業者にも立ち会っていただきます。来年度児童センターが青少年課に移り、引継ぎをしながら進めてまいります。
町田委員長	では、30周年の記念事業についてお願いします。
木下主幹	《③児童センター開館30周年記念事業についての説明》
斎藤委員	缶バッジや記念誌はどのくらい作るのですか。
木下主幹	缶バッジは400～500程度で、記念誌は運営委員会、ボランティア

発 言 者	発 言 内 容
齋藤委員	<p>会、市関係者、来賓、小中学校に配布するため数百冊を予定しています。</p> <p>予算等はどのようになっていますか。</p>
木下主幹	<p>現在、予算要求をしている段階です。</p>
鈴木委員	<p>30周年となると30年間の歴史があり、初期の頃に児童センターに遊びに来た子ども達が大人になって、その子ども達がまた遊びに来ているという時期になっています。世代交代を大切にし、記念式典にも生かしたいと思っています。</p>
町田委員長	<p>星の箱の館内放送、これは実行委員会の中で出てきた内容ですか。20周年は子ども達主体で行ったという話でしたが、今回は子ども達のためというものは缶バッジ位でしょうか。旗は作って子ども達にあげるものなのでしょうか。</p>
木下主幹	<p>子ども達にペットボトルのキャップを、児童センターの旗の模様になるよう大きな板に貼りつけてもらい、遊戯室に掲示するというものです。</p>
鈴木委員	<p>横1.8m位の大きさです。来館する方に協力いただき、2か月半位かけて作ります。ペットボトルのふたを1列ずつ並べていきます。</p>
町田委員長	<p>今までの事項で、改めて質問はありますか。</p>
古谷委員	<p>30周年の式典は5月5日の午前10時から1時間程行うとのことですが、その間、子ども達は隅で遊んでいるのでしょうか、それともシャットアウトするのでしょうか。30周年記念のイベントがあるからみんな行ってごらんと言えるような出し物、企画があると子ども達に声をかけやすいのですが。</p>
町田委員長	<p>記念式典というのは教育的な部分があると思います。10年ごとに記念として残しておくもの、あるいは過去を振り返るということは大事なことだと思います。</p>
西村委員	<p>遊ぶ時間があるとか、赤ちゃんと一緒に踊ったりできるような楽しく、ボランティアや職員でもできそうなものを一つずつ入れてもらうとよいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
渡邊所長	<p>例年5月5日は『児童センターまつり』を行っています。記念式典はこの『児童センターまつり』の前に開催します。『児童センターまつり』はいつも子ども達がたくさん来てくれて、イベントもたくさん用意しています。古谷委員がおっしゃるように、この日を子ども達はとても楽しみにしています。平成29年度は、『児童センターまつり』プラス記念式典が1時間あるとご理解ください。</p>
鈴木委員	<p>記念式典の時間中は遊戯室が使えないということで、それ以外は例年の『児童センターまつり』のとおりということですね。20周年の時は1年半位前から準備をしました。しかし、今回は空調設備の交換や指定管理者への移行ということがあり、なかなか決まりませんでした。20周年の時は公募して市民を巻き込んで行いましたが、今回はそのような時間がないのです。</p>
町田委員長	<p>その他、審議するものがありましたらお願いします。</p>
木下主幹	<p>《12月以降の主な事業の説明》</p>
町田委員長	<p>他に議事はないので会を終了します。</p>
木下主幹	<p>長時間にわたりご協議ありがとうございました。今年度につきましては当委員会をもう1回開催したいと考えています。日程につきましては委員長と相談します。その折はよろしく願いいたします。</p>
西村委員	<p>これで入間市児童センター運営委員会を終わらせていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p>	
<p>年 月 日</p>	
議 長 の 署 名	_____
議長が指名した者の署名	_____